



麻里布小だより

10月

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>

令和7年10月号 大野元良

実り多き2学期に！

9月の下旬を迎え、少しずつ暑さが和らいできました。田園地域では彼岸花が見られるようになり、季節の移り変わりを感じています。

さて、5年生は9月18日からの2日間、徳地青少年自然の家で自然教室に臨みました。「ハイタッチ」を合言葉に、野外炊事やTAP（徳地アドベンチャー教育プログラム）等、他者と力を合わせて作業をしたり、課題解決に挑戦したりする体験活動に取り組みました。思いやりやチームワーク、自己肯定感を高める活動として、子どもたちの心に届くものがあったのではないのでしょうか。

現在の子どもたちには「不足が不足している」という言葉を耳にしたことがあります。換言すれば、恵まれた環境の中での生活だけでなく、時には「我慢する、耐える」経験が必要ではないかということです。こうした観点から、自然の中での2日間に渡る集団活動は、少し窮屈な時間だったと思いますが、貴重な経験になったことだと思います。

2学期は、どの学年においても幅広い活動に取り組み、多くのことを吸収する期間となります。目標を明確にしながら、子どもたちの成長を支援していきたいと考えています。引き続いてのご協力をよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果から

4月に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果について紹介します。本校の6年生は、国語と理科について、全国平均正答率を上回る結果となりました。算数については、平均同等という結果でした。全体的には概ね良好な状況であると捉えていますが、さらなる学力の定着に向けた工夫と改善に取り組むことが重要となります。結果の細部からは、成果（○）と課題（▲）を分析することができます。よさを伸ばし、課題の克服に向けた取組に力を入れていきたいと思います。

【国語】

- 漢字を文章の中で正しく使うことができる
- 目的や意図に応じて、集めた資料を分類したり関係付けしたりして、伝え合う内容を検討することができる
- 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる
- ▲ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる

【算数】

- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる
- 伴って変わる2つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる
- はかりの目盛りを正確に読むことができる
- ▲ 棒グラフから項目間の関係を読み取ることができる
- ▲ 角の大きさについて理解している
- ▲ 割合について理解している

【理科】

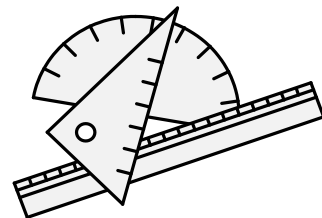
※ ほとんどの問題で、平均を上回っていました。

「データを根拠に事象変化を予想して表現する問題」が、平均を少し下回りました。

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果】

多くの設問において、全国と比べて肯定的な回答が多いという結果でしたが、「就寝・起床時刻の規則正しさ」「自分にはよいところがある」「自分と違う意見について考えるのが楽しい」の問いは少し平均を下回りました。

留意すべきポイントの焦点化を図りながら、指導を継続してまいります。保護者の皆様には、基本的な生活習慣・学習習慣の定着等により、確かな力の形成に向けてご協力をお願いいたします。



～「安心・安全(にこにこ)」「交流(わくわく)」「探求(どんどん)」～